

第32回 台東区こども環境委員会（第58号）

台東区こども環境委員会は、行政と区民ボランティアのコラボレーションで運営する年間プログラムです。名前の通り「環境」をキーワードに社会のいろいろな分野における自分と環境との関わりを学びます。今年度（2015年度）で開始から16年目を迎え、その継続性とプログラム構成に対して2009年度に環境大臣表彰を受けました。

参加者は区内在住在学の小学校4年生から6年生です。自分たちの日常生活がどのように環境とつながっているか？その生活が環境に影響を与えているとすればその影響を少なくする方法は何なのか。環境問題に大上段に取り組むのではなく生活のベースに環境配慮があるような人間としての基本の姿勢を自分で考えることを学んで欲しいと願って運営しているプログラムです。

毎年6月に開始され、2月に終了となります。参加者募集の広報や区民ボランティア募集は行政が行います。区民ボランティアはプログラムの企画・運営を担当しています。参加者募集は台東区内の小学校に送られ、該当小学生全員に配布されます。

年間の10プログラムは座学ではなくすべて体験型です。

【プログラム概要】

1. 開講式

友だちと仲良くなろう見知らぬ子どもたち同士が身体を動かしつつ友達として馴染んでいくようなワークショップと環境問題に関する理解

2. 廃食油で石けんづくり

油を下水に流すことの影響とリサイクル体験

3. リサイクルくる探検隊

資源物のリサイクルルートを知り、リサイクルに頼らない方法も考える（協力：台東区資源物中間処理業者の皆様）

4. まちなみウォッチング

身近な環境配慮を探す、環境への負荷の大きなものの存在を考える

5. グリーンコンシューマーになろう

日常生活における買い物の環境絵の影響を考える（協力：西友）

6. 作って食べようエコクッキング

調理に関わる環境配慮を通して自給率、食品ロス、貧困などを考える。

7. たいとう環境フェスタに出陣！

台東区内で活動する環境団体のイベントに参加し、大人達が実践している環境配慮を学ぶ。作った廃食油石けんの配布を行う。

8. 雑木林できこり体験

緑地保全の体験。下草刈り、落葉掻き、間伐の実施

9. 不忍池で水鳥観察

不忍池に飛来する冬鳥の観察。温度変化、えさやりの状況など人間の行動により鳥の飛来も変化することを実感。

10. さあ始めよう！ 私たちに出来ること

自分は何が出来るか、考えて発表。

開講式ではある程度の知識を学びます。これから始まる体験が、どのような問題をベースにしているかを知ってもらうためです。それぞれの回の体験の後に振り返りをして確認をしますが最終回では、自分はどうなことを続けていけるかを宣誓します。宣誓は多岐にわたり、生き物を大切にする、水の出っぱなしをしないなど日常のことからNGOとして難民の援助活動をしたいなど、大人も顔負けのところが多々あります。区民ボランティアに刺激され、終了してからもボランティアとして関わる中学生・高校生が毎年1～2名いて頼もしい限りです。

残念ながら、台東区では土曜日に学校の授業が実施されるようになりましたので子どもたちの日常が大変忙しくなっています。こども環境委員会も開催日時をいろいろ工夫していますが、参加者が減っているのが現状です。

地球環境が世界規模で問題になり、今後ますます気候変動の影響が大きくなるであろうと予測されている時にちょっと心配ですが、参加した小学生が自身で考え、家族や友だちにも伝え、環境問題を考える輪が広がっていくことを願って続けています。